

稲作情報 No.12

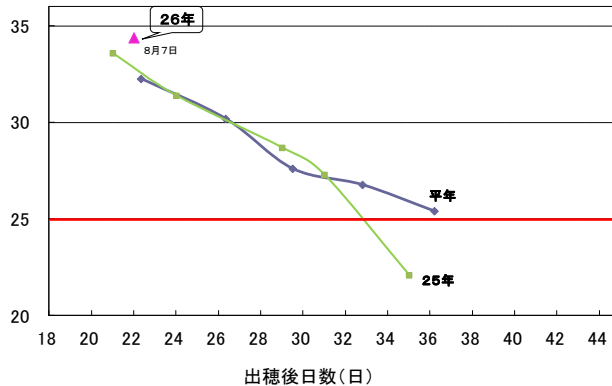
〔8月8日水稻登熟状況、大豆防除、そば播種〕

水田農業レベルアップ委員会技術普及部会（農業試験場、生産振興課、JA経済連、主要農作物振興協会）

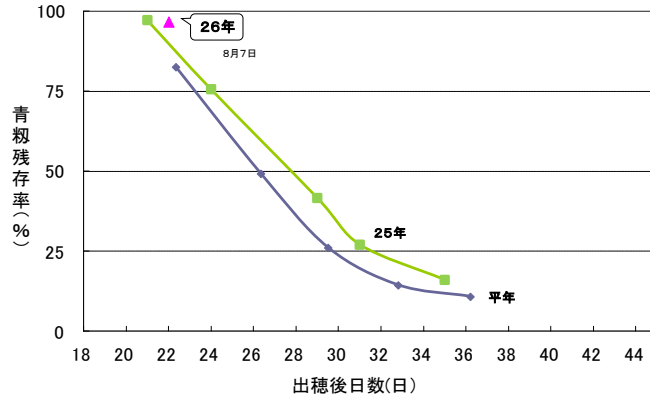
<http://www.pref.fukui.lg.jp/doc/noushi/inasaku/inasaku.html>

- ・**間断通水を収穫直前まで続け、根の活力維持を図りましょう。**
- ・**圃場田面の乾き具合は入水側と排水側両方を確認しましょう。**
- ・**地域で籾水分を測定して適期収穫に備えましょう。余裕を持って収穫準備を進めましょう。**

【農試におけるハナエチゼンの籾水分】



- ・農試ハナエチゼンの籾水分、青籾残存率ともに昨年、平年並み。
- ・ただし今後急に低下することも想定されるので注意する。
- ・次回の調査日は8月11日。



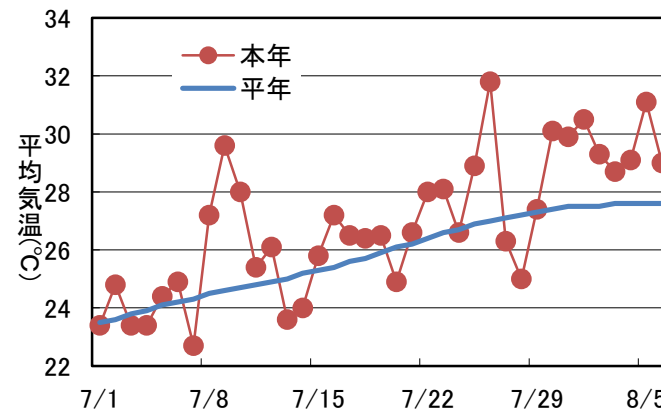
【農試における出穂期以降の積算気温に基づく収穫期予想】

ハナエチゼン(5月2日植) 出穂期 7月16日
積算気温860°Cに到達する日 8月16日

コシヒカリ(5月20日植) 出穂期 8月1日
積算気温990°Cに到達する日 9月7日

上記は今後平年並の気温で経過することを前提に算出。今後の気象条件等で変動するので、これを目安に籾水分等を確認して刈取り日を設定する。

【7月以降の平均気温(福井)】



- ・7月以降は平年を上回る日が多い。特に7月下旬から猛暑が続いている。
- ・予報では、今後も平年並以上の平均気温で経過する見込み。台風情報にも留意が必要。

- ・**胴割防止と登熟向上のため、水管理をこまめに実施することが大切である。**
- ・今後の気象条件等によっては、ハナエチゼンの収穫適期が早まる場合もある。収穫が遅れば**胴割粒の発生が懸念**される。余裕を持ってハナエチゼンの収穫準備を進め、万が一収穫適期が早まっても慌てることがないようにする。

【今後の栽培管理】

栽培管理	管理方法
<p>間断通水で登熟向上 適期収穫で胴割れ防止</p>	<p>【ハナエチゼン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収穫直前まで間断通水を実施し根に水分と空気を供給する。収穫直前まで圃場の土が白く乾かないようにする。圃場が軟弱な場合は徐々に土を硬くするように努める。排水側の乾き具合も確認して入水を判断する。 ・各地域の出穂後の積算温度から成熟期を大まかに予測する（ハナエチゼンの成熟期は出穂後の積算温度でおおよそ860℃）。 ・予測に基づき圃場ごとの籾水分調査を行う。圃場条件（土質や葉の枯れ上がり、倒伏状況）を考慮した収穫順序を考える。 ・葉色が淡い、穂が小さい、籾数が少ないと早く籾が黄化する傾向にある。圃場の土壌条件（土質、地力、水持ち等）や葉色の推移、下葉の枯れ上がり、成熟期直前の降雨に注意し、胴割れ防止に努める。 ・収穫後は、わらの腐熟促進と漏生籾の発生防止のため早めに秋起しを行う。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>注意！ 最近の気象条件によりハナエチゼンの収穫時期は早まり、9月上旬に収穫時期を迎えるコシヒカリとの間が広がっている。しかし、秋起しはハナエチゼンの圃場もコシヒカリ収穫後に行う場合が多い。この時、ハナエチゼン圃場のヒコバエが実って翌年に漏生籾が発生する事例が発生している。</p> </div> <p>【コシヒカリ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収穫直前まで間断通水を実施し根に水分と空気を供給する。収穫直前まで圃場の土が白く乾かないようにする。圃場が軟弱な場合は徐々に土を硬くするように努める。排水側の乾き具合も確認して入水を判断する。 ・フェーン現象や強風の日は終日深水管理とする。これらが収まったら直ちに落水する。 ・直播栽培では、根群域が浅いので表面の土の乾燥に特に注意する。 ・各地域の出穂後の積算温度から成熟期を大まかに予測する（コシヒカリの成熟期は出穂後の積算温度でおおよそ990℃）。 ・予測に基づき圃場ごとの籾水分調査を行う。圃場条件（土質や葉の枯れ上がり、倒伏状況）を考慮した収穫順序を考える。 ・葉色が淡い、穂が小さい、籾数が少ないと早く籾が黄化する傾向にある。圃場の土壌条件（土質、地力、水持ち等）や葉色の推移、下葉の枯れ上がり、成熟期直前の降雨に注意し、胴割れ防止に努める。 ・カメムシ類の発生は平年、前年より多い。カメムシ防除を地域ぐるみで適期に行う。斑点米の発生が毎年多い地域では収穫14～7日前にも防除を行う。コシヒカリの防除ではハナエチゼンの収穫時期に注意が必要である。 <p>【その他の品種の成熟期を予測する積算温度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イクヒカリ 990℃ ・あきさかり 1070℃ <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <p style="text-align: center;">一つの水田で 入水側は十分湿っていても・・・排水側は相当乾いている</p>

【生育調査結果】

		ハナエチゼン			コシヒカリ								あきさかり		
		農試	坂井農場	現地	農試		坂井農場		現地・慣行		現地・特別栽培		農試	坂井農場	現地
		移植 5/2	移植 5/1	移植 5/1	移植 5/20	直播 5/7	移植 5/15	直播 5/8	移植 5/16	直播 5/2	移植 5/20	直播 5/5	移植 5/2	移植 5/15	移植 5/11
幼穂 形成期	本年	6/25	6/25	6/25	7/11	7/16	7/10	7/16	7/9	7/13	7/10		7/10	7/13	
	平年	6/28	6/28	6/28	7/13	7/16	7/10	7/16	7/12	7/15	7/12	7/15	7/10	7/14	7/10
出穂期	本年	7/16	7/16	7/16	8/1	8/5	7/30	8/6					8/3	8/3	
	平年	7/20	7/17	7/18	8/3	8/8	8/2	8/8	8/1	8/4	8/1	8/4	8/3	8/8	8/1

【農試気象対策試験における出穂期の止葉の葉色（SPAD値）】（ ）は平年比

年	ハナエチゼン	コシヒカリ	あきさかり
本年（SPAD）	40. 8(108)	34. 6(100)	35. 4(106)
25年（SPAD）	37. 1	34. 9	34. 6
24年（SPAD）	34. 7	32. 4	32. 6

暑い日が続き水田の水管理は大変ですが、もうひと踏ん張りしていただいて、稲にも活力を与えてあげてください。

大豆

作業	作業の注意点										
病害虫防除	<p>・紫斑病と組み合わせて適期防除に努める。朝夕風のない時間帯に、薬剤が莢に充分付着するよう散布する。</p> <table border="1" data-bbox="416 265 1970 853"> <thead> <tr> <th data-bbox="416 265 779 311">病害虫</th> <th data-bbox="779 265 1970 311">防除</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="416 311 779 476">紫斑病</td> <td data-bbox="779 311 1970 476"> 防除は、開花後20日後とその10日後(開花30日後)の2回行う。チオファネートメチル剤(トップジンM水和剤など)の耐性菌が県内に広く分布しており、使用薬剤については考慮する。 (大豆の開花期とは、全株数の40~50%が開花始に達した日。開花始とは初めて開花を認めた日をいう。)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="416 476 779 522">シロイチモジマダラメイガ</td> <td data-bbox="779 476 1970 522">幼虫が莢に食入する前、大豆若莢期から莢新長期の8月中旬以降。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="416 522 779 688">フタスジヒメハムシ</td> <td data-bbox="779 522 1970 688"> 第2世代成虫の発生初期である8月中旬頃と発生盛期である8月下旬頃の2回防除が基幹。種子塗沫処理や播種時播種溝処理を行っている場合には、8月下旬の1回防除。 (要防除水準は、8月下旬(第2世代成虫発生盛期)に払い落しを行い、1.5m、2条当たり約70頭以上の場合には直ちに防除する。)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="416 688 779 853">カメムシ類</td> <td data-bbox="779 688 1970 853"> 圃場への侵入が多くなる子実肥大期(8月下旬)以降。8月下旬と9月10日頃の2回防除すると効果が高い。 (要防除水準は、8月下旬(圃場侵入期)は100個体当たり0.3頭、9月中旬(発生盛期)は100個体当たり4.0頭以上の場合には防除する。)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(ウコンノメイガ防除時期は過ぎていたので上表では省略)</p> <p>・薬剤は最寄りのJAで取扱いの薬剤を御確認ください。 ・詳しくは、平成26年農作物病害虫発生予察予報第6号を参照。 (http://www.pref.fukui.lg.jp/doc/noushi/kankyo/boujyo_d/fil/yohou6.pdf)</p>	病害虫	防除	紫斑病	防除は、開花後20日後とその10日後(開花30日後)の2回行う。チオファネートメチル剤(トップジンM水和剤など)の耐性菌が県内に広く分布しており、使用薬剤については考慮する。 (大豆の開花期とは、全株数の40~50%が開花始に達した日。開花始とは初めて開花を認めた日をいう。)	シロイチモジマダラメイガ	幼虫が莢に食入する前、大豆若莢期から莢新長期の8月中旬以降。	フタスジヒメハムシ	第2世代成虫の発生初期である8月中旬頃と発生盛期である8月下旬頃の2回防除が基幹。種子塗沫処理や播種時播種溝処理を行っている場合には、8月下旬の1回防除。 (要防除水準は、8月下旬(第2世代成虫発生盛期)に払い落しを行い、1.5m、2条当たり約70頭以上の場合には直ちに防除する。)	カメムシ類	圃場への侵入が多くなる子実肥大期(8月下旬)以降。8月下旬と9月10日頃の2回防除すると効果が高い。 (要防除水準は、8月下旬(圃場侵入期)は100個体当たり0.3頭、9月中旬(発生盛期)は100個体当たり4.0頭以上の場合には防除する。)
病害虫	防除										
紫斑病	防除は、開花後20日後とその10日後(開花30日後)の2回行う。チオファネートメチル剤(トップジンM水和剤など)の耐性菌が県内に広く分布しており、使用薬剤については考慮する。 (大豆の開花期とは、全株数の40~50%が開花始に達した日。開花始とは初めて開花を認めた日をいう。)										
シロイチモジマダラメイガ	幼虫が莢に食入する前、大豆若莢期から莢新長期の8月中旬以降。										
フタスジヒメハムシ	第2世代成虫の発生初期である8月中旬頃と発生盛期である8月下旬頃の2回防除が基幹。種子塗沫処理や播種時播種溝処理を行っている場合には、8月下旬の1回防除。 (要防除水準は、8月下旬(第2世代成虫発生盛期)に払い落しを行い、1.5m、2条当たり約70頭以上の場合には直ちに防除する。)										
カメムシ類	圃場への侵入が多くなる子実肥大期(8月下旬)以降。8月下旬と9月10日頃の2回防除すると効果が高い。 (要防除水準は、8月下旬(圃場侵入期)は100個体当たり0.3頭、9月中旬(発生盛期)は100個体当たり4.0頭以上の場合には防除する。)										

そば

作業	作業の注意点
圃場準備	<ul style="list-style-type: none"> ・そばは湿害に非常に弱いので、栽培圃場の排水性を確保する。 ・できるだけ早めに排水溝を整備し、梅雨明け後の好天下で徹底した乾燥を図る。排水口は排水溝の底面より低くする。 ・麦跡は溝の掘り直しだけ実施し、播種まで耕うんしない。耕うんすると降雨の水が保たれ、排水性が劣る。 ・雑草が多い場合は事前に耕うん、すき込むが、耕うん時期が遅いと播種までに圃場が乾かない。そば用の除草剤はないので注意する。
施肥量	<ul style="list-style-type: none"> ・窒素成分で2kg/10aが基準、大豆専用肥料等を用いてリン酸、加里を多く施用する。 ・麦跡等では無施用とする。
播種時期、播種量	<ul style="list-style-type: none"> ・播種が早すぎると、草丈が伸びて倒伏、結実率も低下するが、遅いと減収する。 ・美山南宮地在来は8月5～15日、大野在来は8月15～20日と、在来種に合わせて播種する。山間地ではやや早く播種する。 ・播種量は、条播で4～5kg/10a、散播で5～6kg/10a。苗立ちの目安は、100～150本/m²。 ・播種深度：2～3cm、条間：30cm程度。 ・出芽が揃い、倒伏に強くなるロータリシーダによる条播が望ましい。耕うん作業と播種作業は同一日に行う。耕うんの目標は直径2cm以下の土塊が重量割合で60%以上。 ・散播の場合には、覆土代わりに播種後軽く（深さ5cmまで）ロータリをかける。これをしないと播種後乾燥が続いた場合、苗立ち不良となる
病害虫防除	<ul style="list-style-type: none"> ・圃場周辺の除草を徹底し、ヨトウムシ類の侵入を予防する。 ・ハスモンヨトウは成虫発生初期から終期までフェロモントラップ（フェロディンSL）を2～4個/ha設置し雄成虫を誘殺する。また、圃場をよく観察して発生盛期にロムダン粉剤DL、ロムダンフロアブル、ゼンターリ顆粒水和剤で防除する。 ・ハスモンヨトウの発生盛期は平年で9月10～20日頃。

ふくいアグリネット「稲作情報システム」のご案内

ふくいアグリネット <http://www.agri-net.pref.fukui.lg.jp/>
 稲作情報システム http://www.agri-net.pref.fukui.lg.jp/gizyutsu/ine_sys/index.html

①ふくいアグリネット・トップ→ 農業技術情報 →稲作情報システム

The screenshot shows the homepage of the Agri-Net portal. The navigation menu at the top includes '農業技術情報' (Agricultural Technology Information) and '稲作情報システム' (Rice Production Information System), both of which are circled in red. The main content area features various news items and sections for agricultural information.

②年度、情報(生育状況、収量・品質)、地域、地点を選択

This screenshot shows the selection interface for the 'Rice Production Information System'. It includes a dropdown menu for the year (set to 2012), a radio button for '生育状況' (Growth Status), and a map of Fukui Prefecture with colored regions: 福井-坂井 (orange), 丹波 (green), 越前 (blue), and 美加 (pink). Below the map is a table listing specific locations and their details.

NO	地名名	品種	栽培方法	地域区分
4	高山一畑庄	ハナエチゼン	移植	高丹中
7	あわのこ伊豆	ハナエチゼン	移植	坂井平
45	坂井農機一畑庄	ハナエチゼン	移植	坂井平
54	坂井農機二畑庄	コヒカリ	移植	坂井平
56	福井一畑庄	ハナエチゼン	移植	高丹平
110	坂井二下直農(直)	コヒカリ	直播	坂井平
112	坂井二下直農(直)	コヒカリ	直播	坂井平
58	坂井農機一畑庄	あきさかり	移植	坂井平
113	坂井農機一畑庄	コヒカリ	直播	坂井平
70	福井二下直農(直)	コヒカリ	移植	高丹平
71	福井二下直農(直)	コヒカリ	移植	高丹平
72	津島二下直農(直)	コヒカリ	移植	高丹平
74	三郷二下直農(直)	コヒカリ	移植	坂井平
75	丸岡二下直農(直)	コヒカリ	移植	坂井平
86	美加二下直農	あきさかり	移植	高丹平
116	丸岡一畑庄	ハナエチゼン	移植	坂井平

③生育状況、収量、品質のグラフを表示

This screenshot displays the data visualization interface. It features several line graphs showing growth status (生育状況), yield (収量), and quality (品質) over time for different locations. Below the graphs is a table with columns for '生育状況' (Growth Status), '品質' (Quality), and '収量' (Yield).

福井県農業情報ポータルサイト「ふくいアグリネット」において、県内各地(約40地点)の水稻の生育状況や収量・品質の調査データを「稲作情報システム」で掲載しています。現在の生育状況はもちろん、過去のデータ(生育、収量・品質)を調べることができます。ぜひご利用ください。

【天気予報】

8月7日11時発表

気象庁 気象統計情報(各種観測データ)
<http://www.jma.go.jp/jma/menu/report.html>

日付	8 金	9 土	10 日	11 月	12 火	13 水	14 木	
福井県	曇のち雨 ☁/☔	曇時々雨 ☁☔	曇時々雨 ☁☔	曇一時雨 ☁☔	曇時々晴 ☁☀	晴時々曇 ☀☁	曇時々晴 ☁☀	
降水確率(%)	30/50/70/50	60	60	50	30	20	30	
信頼度	/	/	C	C	B	B	C	
福井	最高(°C)	29	32 (29~35)	31 (27~34)	30 (28~33)	32 (29~34)	33 (31~36)	34 (30~36)
	最低(°C)	26	25 (23~26)	25 (24~26)	25 (21~29)	25 (20~28)	24 (21~27)	24 (22~26)

【メールマガジン e農メール】

e農メールの登録については、こちらをご覧ください。
http://www.agri-net.pref.fukui.lg.jp/a_mail.html



携帯電話ではQRコードで簡単アクセス